

# 東北地域における 農泊推進シンポジウム

～東北の魅力発見！見て、感じて、泊まって、味わって～

農村地域の人々との交流・滞在を  
楽しむ「農泊」の取組をより一層  
推進するため、農泊シンポジウム  
を開催します。

参加無料  
定員120名  
(先着順)



日時 平成29年2月28日(火) 13:00～16:30 (受付 12:00)

会場 エル・パーク仙台スタジオホール (141ビル 6階)

宮城県仙台市青葉区一番町4丁目11番1号

内容

## 1. 基調講演

「農泊の推進による東北の魅力発信に向けて」

宮城学院女子大学現代ビジネス学部 学部長

みやはら いくこ  
宮原 育子 氏

## 2. 事例発表

(中間支援組織の取組事例)

「喜多方市の農泊推進とワンストップサービスの実践」

喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター  
理事長

いとう こうたろう  
伊藤 幸太郎 氏

(農泊受け入れ側の取組事例)

「民話のふるさと遠野で触れる お・も・て・な・し」

農家民宿Agriturismo大森家 (遠野市)

おおもり ともこ  
大森 友子 氏

## 3. パネルディスカッション ～地域に人を呼び込むための仕掛けづくりとその工夫～

パネリスト：伊藤 幸太郎 氏、大森 友子 氏

齋藤 充利 氏 株式会社農協観光営業企画部 部長

大泉 勝利 東北農政局 地方参事官 (特命・事業計画)

コーディネーター：宮原 育子 氏



Japan.  
Farm  
Stay

主催：東北農政局 後援：東北運輸局、東北森林管理局、仙台漁業調整事務所 (予定)

# 講演者プロフィール

みやはら いくこ

宮原 育子 氏



東京都出身。1975年に（株）日本旅行に入社。退職後、明治大学を経て東京学芸大学大学院、東京大学大学院で地理学を学び1997年に修了。同年から宮城大学事業構想学部で地域資源、観光交流などを講義。2016年からは、同年に開学した宮城学院女子大学現代ビジネス学部の教授・学部長として「観光学」の教鞭をとる傍ら、「観光には地域の魅力の磨き上げや発信を通して、人と人々を結び、新しい価値を創造する力がある」ことを理念に、「地域交流事業」の研究や、多数の自治体における観光の取組に委員として参画するなど積極的に活動している。  
みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会顧問。

いとう こうたろう  
伊藤 幸太郎 氏

喜多方市において、農泊に係る実践団体の窓口の一元化や運営の支援、PR活動などに精力的に取り組むかたわら、自身も農家民宿「葎の農泊めぐり」を営むなど、地域における農泊推進の旗手となっている。

## 農家民宿Agriturismo大森家

民話のふるさと遠野に建つ、築70年以上の古民家を、一部の内装を現代では味わえない「純和風の空間」として、自分たちの手で修復し、農家民宿として開業。  
宿泊者に、春から秋の期間には農業体験と収穫した野菜やできる限り自家農園で原則農薬を使わず栽培した物を食材にした食事を提供し、遠野の自然と田舎料理が味わえる宿として、外国人旅行者にも人気がある。

## 会場へのアクセス

### 141ビル（仙台三越定禅寺通り館）

JR：JR仙台駅からタクシー約10分  
地下鉄：「勾当台公園」駅から徒歩1分  
バス：「商工会議所前」バス停から徒歩3分  
「定禅寺通市役所前」バス停から徒歩3分

※会場にお越しの際は、公共交通機関や民間駐車場をご利用ください。



## 東北地域における 農泊推進シンポジウム

参加申込み（申込み締め切り：平成29年2月24日（金））

FAX：022-216-4287

TEL：022-263-1111（内線4444、4185）

E-mail：nouson\_keikaku@tohoku.maff.go.jp

【お問い合わせ先】 東北農政局農村振興部農村計画課 担当：稲村、佐藤

参加ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXかメールにて送信してください。  
なお、複数名でのお申し込みをご希望される方は、この用紙をコピーしてお使いください。

お名前	フリガナ	ご所属	
ご役職		電話番号	
		FAX番号	
メール			

※ご提供いただいた個人情報については、法令で定める場合を除き、収集の目的を超えての利用や提供は一切行いません。